とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	あそか保育園
日時	令和6年 10月

1，活動テーマ

＜テーマ＞

・2歳児：バルーン遊び

＜テーマ設定理由＞

・運動会で年長児がバルーンを行い、練習の様子を見て興味を持つ姿が見られていた。またリトミックなどでもバルーンを使いながら音楽に合わせて揺らしたりと楽しんでおり、今回はバルーン遊びを取り入れた。

2，活動スケジュール

・異年齢児（年長児）の運動会の練習を見て、バルーンに興味を持つ子どもがいる。
・ホールで練習する姿をみんなで見る。
・練習後にバルーンに触れる機会を設ける。

3，活動のために準備した素材や道具、環境設定

・バルーン（1）
・バルーンを広げて揺らせる広さの活動場所（ホール）
・CDデッキ　　・CD

4，探究活動の実践

＜活動内容＞

・大きなバルーンを保育士や友達と一緒に持ってみる。
・年長児が揺らしている姿がイメージされ自然と子ども達の方から揺らし始め、みんなで揺らしてみる。
・曲をかけるとバルーンを揺らし楽しむ。
・最後にカラーボールをバルーンに乗せ、ボールが動く様子を楽しむ。

＜活動中の子どもの姿、声、子ども同士や保育者との関り＞

　バルーンを手に取り上下に振ってみる。「大きな音がする」「バサバサしてる」という声が聞かれる。慣れてくると保育士の真似をして力強く揺らし、音が大きくなる様子に気が付く子どももいた。

　大きくなる音に喜び、さらに大きく揺らそうとする姿もあった。横に揺らすことも楽しみ、揺らし方によって音の大きさなどの違いに気がつく子どももいた。

　バルーンの中にボールを入れて揺らす。バルーンの中でボールが動く様子を見て一緒にジャンプをしたり振動や反動を楽しむ姿が見られた。

5，振り返り

＜振り返りによって得た保育士の気づき＞

　リトミックなどでもバルーンを使っているが年長児の運動会の練習で行っていることで更に子ども達はバルーンに興味を持っていた。今まで楽しんでいるバルーンよりも大きさもあり、より音のなり方や振動の感じ方などがダイナミックに伝わり子ども達も楽しんでいた。音を耳で感じるだけではなく、振動やボールの動きから身体や視覚から感じることも大切だと感じた。生活の中で音は欠かせないものなので子どもの気づきに耳を傾け、興味を広げて行けたいと思う。